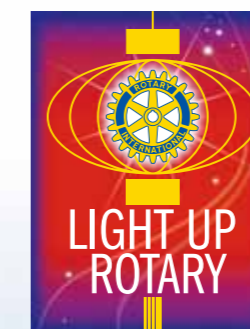
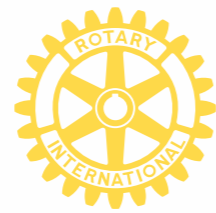


2014-2015 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 9



Rotary
District 2510





石川啄木(1886年-1912年)は北海道にゆかりの歌人である。その生涯は僅か26年と短すぎた人生だった。もし長生きしていたら、もっと多くの素晴らしい作品を残されたに違いないと思う。

啄木は岩手県の曹洞宗日照山常光寺住職の父・石川一偵と母・カツの長男として明治19年に誕生している。(戸籍は明治19年だが明治18年10月18日に誕生したとも言われている)誕生後間もなく父が浜民村宝徳寺の住職に転任したため、一家で浜民村へ移転した。母カツについて、カツが39歳(高齢出産)で啄木を産んだので、牛乳と肉を断って養育したと伝え聞いた。そのためカツはやせ細っていたと言われている。あの有名な句はこの状況から詠まれたのではと想像した。「たわむれに母を背負いてそのあまり軽きに泣きて三歩あゆまず」母カツは啄木を溺愛したと言われている。

中学時代にはカンニングがばれて、出席日数も不足して退学勧告を受け中学を退学している。又啄木のエピソードでよく出てくるのが、友人からの借金でかなりの友人達が相当の額の無心を受けた。一番額が大きかったのは宮崎郁雨(妻節子の妹の夫)で150円。故郷の先輩に当たる金田一京助は樺太に出張中にも無心を受けた。その息子春彦は啄木の為に家財道具まで売って金の工面をしている父の様子をみて、幼心に「啄木は石川五右衛門の子孫ではないか」と疑念を抱いたと言われている。

波瀾万丈の生涯は26歳でピリオドを打つ。母カツが逝去した翌月啄木も後を追うように逝った。二人とも肺結核だった。札幌・小樽・釧路・函館と短期間の生活を体験している。その中で、函館での印象が良かった為か、死んだら函館に墓を建てて欲しいと願った。葬儀は浅草等光寺で営まれた。ここに夏目漱石も参列していた。この等光寺は土岐善麿(哀果)の生まれた寺で、境内には啄木の句碑も残されている。この土岐の計らいで「悲しき玩具」も世に出ることになる。若山牧水は臨終を看取った。多くの文化人が啄木と語り合いそして別れていった。

CONTENTS

- ガバナーメッセージ 1
- 地区青少年奉仕委員長メッセージ 2
- 地区インターアクト委員長メッセージ 3
- 地区ローターアクト委員長メッセージ 4
- 地区青少年交換委員長メッセージ 5
- 地区RYLA委員長メッセージ 6
- ガバナー公式訪問便り 7~10
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り 11
- ローターわくわく森の親子キャンプ2014~夏休み編~事業報告 12
- 新会員のご紹介 13
- 2017-2018年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い/文庫通信 14
- クラブ紹介(第2グループ) 15
- ローターデーを実施したクラブの表彰/ローターデー・ローターウイーク案内 16
- 第48回『おたる潮まつり ねりこみ』参加/広報委員会からのお知らせ 17
- 2016-17年度会長にジョン・ジャーム氏/ローターの友委員会よりお願い 18
- 出席率・会員数 19
- 地区カレンダー(9月・10月) 20

クラブ会長様 クラブ幹事様

国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)



9月に入っても残暑が続いています。公式訪問もお陰様で29クラブを終える事が出来ました。訪問クラブの会長・幹事様にお世話になり、心から厚く御礼申し上げます。

さて私の所属する札幌南ロータリークラブは、以前札幌商業高等学校インターアクトクラブと札幌大学ローターアクトクラブを提唱していました。時代の変遷に伴いインターアクトクラブは終結され、札幌大学ローターアクトクラブは大学ベースから社会人ベースに変更。クラブ名も札幌南ローターアクトクラブに改称され現在地区内ローターアクトクラブのリーダー的クラブとして活躍しています。特筆すべきことは、アクトの卒業生(18歳から30歳)から4名のロータリアンが誕生(2014年現在)したことです。素晴らしい事例であると考えています。先輩から受け継がれていく伝統は我がクラブの誇りとする所でございます。

地区大会などで、インターアクトクラブやローターアクトクラブの会員が紹介される事があります。「彼らは、誰ですか?」と思われる方もあるでしょう。彼らこそ私たちロータリークラブがスポンサーしている、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブのメンバーなのです。IAC(インターアクトクラブ)は、奉仕と国際理解に貢献する青少年のためにロータリークラブが提唱している世界的な団体です。高校の在学中の生徒、または12歳から18歳までの青少年が入会出来ます。「国際的活動」(International Action)を意味して名付けられました。以前は14歳からでしたが2010年1月の理事会(RI)で、12歳に引き下げられる決定により、中学校にもインターアクトクラブが出来はじめています。ロータリークラブのメンバーだけでなく、顧問教師が会員の面倒を見ている。

RAC(ローターアクトクラブ)は18歳から30歳(30歳になった後の6月30日まで)の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブが提唱する世界的な団体です。「行動」(Action)から名付けられました。インターアクトクラブの会員をインターアクター、ローターアクトクラブの会員をローターアクターと呼んでいます。

彼らの活動は、ロータリーと同様にクラブ例会を開催しています。例会の基本は2週間に1回程度、例会のやり方はクラブによって違いますが、点鐘して歌をうたって始まるクラブも多くあります。又ローターアクトクラブの場合は、地域社会に根ざした活動に加え、発展途上国に向いて井戸を掘ったり、学校を建てる支援をするなど国際的な活動も活発に行っています。IAC,RACには、ポリオ撲滅などロータリアンと共に活動する機会もあります。

札幌南RACの場合には、「親子暗唱大会」や「暮らしの何でも無料相談」には多くのメンバーが参加し、ロータリアンと一緒に活動している姿は実にさわやかで将来が期待されます。

インターアクターもローターアクターもロータリアンに接しながら、ロータリーのことや社会のこと等を学んでいます。ロータリアンは彼らの手本となるように自らの行動を振り返る必要を感じます。又出来るだけ機会を見つけて、彼らの若いアイデアに触れる事で、新しい活動のヒントを得られるに違いありません。

国際ロータリー ゲイリー・C.K. ホアン会長は、「若い世代に積極的なアプローチをして下さい。特に元インターアクター、元ローターアクター、財団学友、ROTEX、RYLA 修了者など、若いロータリアンの増強をお願いします。」と強調されています。(一部ロータリーの友2012年2月号より抜粋引用)

青少年奉仕月間に因んで

地区青少年奉仕委員会
委員長 出村 知佳子(札幌北RC)



「青少年奉仕月間」ということでガバナー月信への投稿をさせていただきます。

当地区では、今年度より委員会名が「新世代」→「青少年奉仕」に名称も変更になりました。青少年奉仕委員長として、月間についての記事を書かせていただくにあたり、実は少々慌ててしまいました。というのも私事ですが、青少年奉仕の委員長として1年目、ようやくひと半月が過ぎたところです。この月間にあたり、せめて一夜漬けのような勉強をして記事を書かせて頂こうと思ったのですが、地区内の会員皆様の中にも同じような状況の方が多くいらっしゃるのではないかと思います、短い期間の事ではありますが私が青少年奉仕について感じました事を率直に述べることにいたします。

これまで、青少年奉仕以外の奉仕活動、プロジェクトについては地区の皆様へ貴重な経験をさせていただいたおかげで、「多少の知識」や「HOW TO」があるのではないかと思います、青少年につきましても、以前に地区やクラブにて青少年交換事業のほんの少しのお手伝いをした程度で、お恥ずかしながらわからない事がほとんどでした。

昨年末から、RYLAセミナー、インターアクト地区大会、ロータクト地区大会、青少年交換に関します危機管理委員会等、色々参加する機会を頂戴しました。率直に申しまして、この各部門の深い意義というものがさへ理解をしていませんでしたので、最初は正直、義務的な気持ちで出席いたしました。しかしながら、各場面での青少年達の活動へ真剣に取り組んでいる姿には、目を見張るものがありました。このように若い時代からロータリーの関わる機会を持った若者たちを羨ましい…とも思いました。

また私事ですが、これまでのロータリーでの国際奉仕、WCS、財団の事業等タイやインドネシア支援事業に関連して訪れました際に、地元の多くの青少年交換学生、ローターアクター、地元の高中生達等が支援活動と一緒に参加をしてくれ、日本に留学していた青少年交換学生等からも、「日本の国から本当にお世話になりありがとうございます。日本との懸け橋になりたく、何かお手伝いをしたい…」という言葉を何度も聞くことができ、とても感動しました。こうして青少年たちに様々なロータリーの活動に参加をしてもらうことが、ロータリーを理解する早道であると強く感じました。

先日行われました、東日本大震災により北海道への避難者の方を対象にしました「ロータリーわくわく森の親子キャンプ」でも、RYLA学友や青少年交換学生等が参加してくれました。活動を通じて気持ちが一つになり、ロータリーについての理解も少し広がったのではないかと感じております。

青少年奉仕部門の「インターアクト」「ローターアクト」「青少年交換」「RYLA」では各地区委員長、委員、そしてご担当のクラブの皆さんが日々努力されて活動をされており、この場をお借り致しましてこころより深く感謝申し上げます。このような活動が少ないクラブの各会員の方も、地区大会や地区行事に御参加され、直に活動をご覧になって頂ければ大変嬉しく存じます。

また、「RYLAセミナー」については、どのクラブでも参加をすることが可能です。積極的なご参加を是非よろしく願い申し上げます。

これらの活動にふれていく中で、「将来のロータリアンを育成していく青少年奉仕部門はとても夢のある事業」である事を確信しています。今後共皆様の「青少年奉仕」に関しますご理解とご協力をよろしく願い申し上げます。

インターアクト活動報告 (台湾研修旅行)

地区インターアクト委員会
委員長 山口 史朗(札幌東RC)



8月2日(土)～5日(火)の三泊四日の行程で、インターアクト海外研修旅行を実施しました。今回は、ロータリアン4名・インターアクター17名・顧問教師6名の総勢27名の参加です。大まかな行程をご紹介します。

一日目は、台湾入国後、士林夜市を散策。台北でも最大規模のエネルギー露天マーケットで、グルメから服までリーズナブルで圧倒的な活気です。ここで早速トラブル発生。集合時間になってもアクター二人が戻って来ません。人混みと入組んだ小路で迷子になった様子。手分けして探すも見つからず、善後策を話し合い、若干名を残して現場を離れる瞬間、そこへようやく迷子の二人登場。胸を撫で下ろして全員揃ってホテルへ。

二日目、MRT(地下鉄)で台北駅へ行き、新幹線に乗り換えて台中へ移動。宝覺寺を見学。高さ30mの彌勒大仏像が有名で、鳥が鼻の下にすぐ巣を作ってしまうことから「鼻くそ大仏」と呼ばれているそうです。続いて、日月潭に移動して玄武廟・玄光寺を見学。日月潭は、山と湖が水墨画のような景色を織りなす風光明媚な景勝地。昼食で、原住民族の食文化に触れる。台北に戻って、「台北101」に行く組とショッピング組に分かれて行動。

三日目、故宮博物院で「白菜」「豚の角煮」など数々の至宝に感嘆した後、忠烈祠で衛兵交代式を見学。昼食を挟んで、JTB台湾元社長による台湾歴史講話。過去の戦争経験を乗り越え、今日に至る日本と台湾の友好関係をさらに強固にしていきたいためにも、平和を守り抜く決意と相互の信頼関係が何より大切であることを学びました。

次に、今回のメインである施設訪問。



故宮博物院エントランス広場にて
集合写真



台湾の歴史と日本との
関係についての講話

「中華民国自閉症総会」という障害者施設を初訪問。まず、理事長・施設長とあいさつを交わしたあと、施設に

ついての説明を受け、多くの善意と熱意に支えられていることを知りました。そして、施設の方の努力と苦労によって、多岐に亘る活動が維持されている一端をご紹介いただき、続いて入所者との交流会。私達は、「ふるさと」「春が来た」「手のひらを太陽に」の三曲を合唱。真剣に耳を傾け、手拍子する姿が心に響きました。そのあと、一緒に「押し花葉」作り。入所者を指導役に、教わりながら完成したマイネーム入り葉をプレゼントしていただく。共同作業の貴重な体験に、確かなふれあいを感じた瞬間でした。さらに、入所者による「竹田の子守唄」と「きらきら星」のオカリナ演奏。披露出来るまでに2年の練習期間を要したと聞き胸が熱くなりました。訪問の最後に、皆で記念撮影。そして、プレゼントの交換。入所者が、この日を楽しみにして準備してくれたのが伝わってきたし、喜んでいただけたと感じました。アクター達にとって、言語を超えた交流とボランティア体験は、得難い有意義な経験となったことでしょう。今後とも是非継続していきたい幸いです。

夕刻、九折に移動。宮崎アニメの舞台になったと言われるノスタルジックな街を散策し、夜景を眺め、郷土料理を味わう。他校のアクター同士も、すっかり打ち解けた雰囲気です。



インターアクターによる童謡合唱



施設入所者と共同での
「押し花葉」製作作業

最終日、ホテルから空港へ。事故なくケガなく病気なく、全員元気に帰国しました。台湾の歴史と文化に触れ、多くのことを初めて体験し、それぞれが貴重な経験を胸に、研修旅行は無事終了しました。

アクター達が思い思いに感じたこと、考えたことが内面で消化され、栄養となって成長に繋がることが何よりの楽しみです。そして、成長した姿を目の当たりにすることが、何よりの幸せです。

ローターアクトクラブの活動

地区ローターアクト委員会
委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)



ローターアクトクラブ(以下RAC)は18歳から30歳までの誰でも入ることができ、活動することができます。提唱していないロータークラブではRACは何をしているのをご存じない方が多いかもしれません。そこで今年度もガバナーにRACの例会を訪問していただくことにしました。その機会に、できればグループ内の各クラブのメンバーの皆さんにもオブザーバーとして参加され、RACの活動や例会の様子などを実際にご覧になることで、少しでもRACへの理解と関心を深めていただければと考えています。第2510地区では赤平、千歳、函館大学、室蘭北、札幌南の5クラブが活動をしています。現在各クラブが行っている代表的な活動をご紹介します。

◆赤平 ローターアクトクラブ 『盲導犬育成 募金活動』



日本の盲導犬実働数は1043頭(※1)そして盲導犬使用者は1064人(※1)という発表がされています。一頭あたりの盲導犬育成費用が約500万円と高額な資金が必要な為、盲導犬を満身に育成する事が出来ず、年々盲導犬数が減少しているそうです。赤平ローターアクトクラブは少しでも協力ができればと思いこの盲導犬育成募金活動を始めました。(※1 2012年3月末)

◆千歳 ローターアクトクラブ 『千歳ひまわり号を 走らせる会支援活動』



市内知的障がい者施設の夏祭りスタッフボランティア、障がい者を対象とした日帰り旅行の企画への参加などを毎年続けています。昨年度は地区を超えて第2500地区富良野RACの協力も得て現地へそ踊りの実演指導もしていただきました。

◆函館大学 ローターアクトクラブ 『函館西桔梗 グラウンド植樹活動』



函館大学RACと提唱する函館東ロータークラブが合同で植樹活動を行いました。函館大学ローターアクト部は4月に新たに3名の新生が入り、今回の植樹は今年度初めての課外活動となりました。植樹を経験したことがある2、3年生を中心に部員一同協力して植樹を行うことができました。

◆室蘭北 ローターアクトクラブ 『エバーグリーン 奉仕活動』



介護老人保健施設エバーグリーンハイツ室蘭
活動内容の詳細:「利用者みなさんと一緒に歌ったり手遊び歌などをして交流しよう」と言うボランティア活動です。最初は7曲の予定でしたがリクエストがあり13曲になりました。一曲目には「手に手つないで」を歌いローターアクトクラブについての説明をしました。

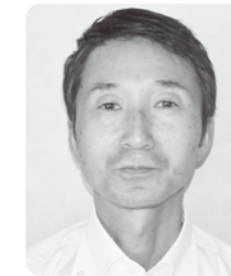
◆札幌南 ローターアクトクラブ 『天使の園への ボランティア活動』



主なる活動として提唱ロータークラブである札幌南ロータークラブの活動のお手伝いや児童養護施設で行われるお祭りのお手伝いを行っています。児童養護施設では、餅つきやドッジボール、ビンゴ大会を行い、子どもたちと交流を深めました。また夕食の準備時間には幼児に絵本の読み聞かせなどをしました。このような地域に密着した活動を行っています。

青少年交換活動を通して ロータリーの活動を広報する

地区青少年交換委員会
委員長 出口 修(札幌大通公園RC)



青少年交換のみならず、ローターアクト、インターアクトという青少年奉仕の全般にいえることですが、それらの活動を行っているクラブが限られているという現状にあります。

当地区では、15歳から19歳の学生を対象とする青少年交換は、1年間の長期プログラムを中心に取り組んできました。青少年交換の未経験のクラブが、この1年間という長丁場のプログラムに取り組むのは、決して簡単なことではありません。まずは、海外からの高校生を受け入れるにしても、ホストファミリーが見つかるのだろうかという不安があります。また、それ以上に、地域の高校は1年間も学生を引き受けてくれるのだろうかという壁が目の前に立ちだかります。札幌市内のクラブそして高校で、交換学生を引き受けることは、ホストファミリーのネットワークと受入経験高校が充実していることから、決して難しいことではありません。

しかしながら、青少年交換委員会としてその状況に甘んじては、青少年奉仕活動がなかなか札幌という枠から広がっていくことができません。今年の1月から長沼RCならびに長沼高校でオーストラリアからの交換学生を受け入れていただいております。長沼高校は、当初受入に難色を示しておりました。しかし、長沼RCの多くの皆様の熱意と努力で、校長先生を筆頭とした受入プロジェクトが編成されるまでに至りました。

また、今年の夏からは、江別の「とわの森三愛高校」と「登別明日(あけび)中等教育学校」の両校で、初めて交換学生を1年間ホストいただくことになりました。両校とも受入実績はないものの、グローバルな教育には積極的な学校であるだけに、多くの可能性を秘めていると思います。

全国レベルの青少年交換関連の会議やセミナーに参加した際に感じるのですが、青少年交換活動に従事されているロータリアンの皆さんは、青

少年交換そのものが目的となっているようです。ホストファミリーと交換学生とのトラブルへの対応に追われると、交換事業をとにかく成功裏に終わらせたいという思いが強くなるのも致し方ないと思います。しかし、青少年奉仕は、本来はロータリーの活動を地域の皆さんに理解してもらうための手段であり、目的ではないはずです。私自身もトラブルへの対応や交換実務に追われる日々で、本来の目的を見失っていたと深く反省している次第です。

2014年という年が、長沼高校での受入にスタートし、そして、とわの森と登別明日で新たなネットワークができるという近年稀にみる動きとなりました。

長沼、江別、登別というエリアで、青少年交換奉仕を通して、ロータリーの活動が地域の皆様に伝わっていく起爆剤となればという思いでいっぱいです。そのためには、青少年交換にとどまらず、地域と青少年奉仕という広い視点で、委員会としてお手伝いをしていかなければならないと感じています。

皆様のロータークラブでも、是非とも青少年奉仕にチャレンジいただき、地域での存在感の強化につなげていただければと思います。



RYLAにご理解を!

地区RYLA委員会
委員長 増山 柳 (江別西RC)



RYLA委員会は当地区組織図「奉仕プロジェクト委員会」青少年奉仕委員会の中に所属しています。この9月は青少年月間という事で青少年交換委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会と共にRYLAについての活動内容を報告させていただきます。

Rtary Youth Leadership Awardsの略称で、ローターリーが行う研修プログラムです。年齢14歳から30歳までの青少年を対象として嘱望される若者に効果的な研修を提供し、青少年による青少年への指導を激励し、地域社会に尽くしている若者を公に表彰する事により、若者に対するローターリーの尊重を示すものです。

ローターリーがRYLAを何故組織するのでしょうか? それはロータリアンが若い人々の素質を信じ、青少年の指導力の開発とそれに投資する事の重要性を信じる思いから生まれたものなのです。若い人々の素質を認める事は、地域社会におけるローターリー・クラブのイメージを改善し、青少年と成人の関係性を深める中心的な役割を果たす事が出来るからです。

RYLAセミナーはロータリアンが地域の若者の中から将来のリーダーにふさわしいと思われる人材であればロータリアンの子弟は勿論のこと、地域内の企業や大学などで実際にリーダーシップを発揮して活躍している人材でも構わないのです。

昨年度のRYLAセミナーは2014年4月19日(土)・20日(日)の日程で札幌NTT北海道セミナーセンタ



ーに於いて開催されました。

参加者は将来リーダーシップを発揮する立場で活躍することを期待できる人々へのプログラムの内容を考えて、18歳から30歳までという年齢制限をもうけました。1日目は顔合わせからコミュニケーションを深めるためにコンセンサスゲーム、その後夕食会場までグループごとのスポット探訪。(街の風景宝探しゲーム)。2日目は体操や座禅の後、JR東日本IESSEIのおもてなし創造部顧問、矢部輝夫氏の感動的な講演をお聞きした後、午後はリーダーシップを発揮するうえで遭遇しそうな問題事例を題材としてのグループディスカッション、そして発表～評価～終了式最後に記念撮影と参加者にはかなりハードなスケジュールでしたが、楽しみながら充実した内容の2日間を過ごしてもらえたのではないかと思います。

参加者27名から回収したアンケートの中で一番嬉しかった事は、『RYLAセミナーの修了者はライラリアン(学友)となりサークルの一員として活動してみたいですか』という問いに、希望者が半数を超えた事でした。2015年度4～5月に開催予定のRYLAセミナーには第2510地区すべてのクラブからの参加を心からお待ちすると共に、RYLA委員一同充実した活動内容を練って行きたいと思います。

今年度は一人でも多くのロータリアンにRYLAのご理解とご支援いただきますよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

/ガ/バ/ナ/ー/公/式/訪/問/便/り/

深川・妹背牛ローターリークラブ 7月8日(火)

7月8日地区内最初の公式訪問を羽部ガバナー、村中ガバナー補佐、北川地区幹事をお迎えして、妹背牛・深川の両クラブ合同でお受けした。クラブ協議会では地区方針報告のあと両クラブ五大奉仕計画の発表と質疑があった。例会では羽部ガバナーから、RIのテーマ「ローターリーに輝きを」に関する東洋的で教訓的なお話しに続き、地区目標・重点課題について説明があり、結びに両クラブへの激励の言葉をいただいた。終始ガバナーのお人柄を醸し出す、和やかな雰囲気のご訪問であった。尚今回試行した両クラブ協議会を合同で行う事のメリットを両会長で確認した。



苫小牧東ローターリークラブ 7月10日(木)

7月10日(木)午後4時からの会長・幹事懇談会には、手塚ガバナー補佐に司会進行をしていただき和やかに進められました。苫小牧東ローターリークラブ小幡直樹会長より、会員増強目標を2015年4月までに3名の純増を計画されているとの力強いご報告がありました。また、ローターリーデーに関し、ローターリーウイークで実施を検討中とのことでした。財団寄付につきましては、一人150ドルのご寄附をガバナーより再度お願いを致しました。引き続き午後5時からクラブ協議会が開催されました。小幡会長より、当クラブは早い時期からCLPを採用してクラブ運営をしておりますのご報告がありました。また、奥野幹事の司会進行で開始され、小幡会長から2014-2015年度の会長方針が述べられました。「家族と共に広めようローターリーの輪」という運営方針を基本に各委員長より活動計画の発表がありました。その後、ガバナーより非常によく計画された委員会活動との講評がありました。特に社会奉仕事業での環境美化、リサイクル等を取り上げられ環境標語を募集して「053大作戦」を実施していることに感激致しておりました。午後6時奥野幹事の進行、小幡会長の点鐘で例会が開始され、食事の後、公式訪問の卓話に移りました。ガバナーよりRIのテーマ「ローターリーに輝きを」をこの1年全会員で推進して頂きたいとお話されました。また、ゲイリー会長が力説している「ローターリーファミリー」で若返りしてほしいとお話を致しました。ローターリーデーには、ポリオのない社会を目指して素晴らしい事業をお願い致し、最後に「人生最大の目的について」それは「幸せに生活すること」と釈尊の生涯と経典の一文をご紹介します、ここに人生を輝かし世の中を輝かすヒントがあります。との言葉で締められました。(文責 地区幹事 佐々木雅之)



長沼ローターリークラブ 7月14日(月)

7月14日(月)午後5時から長沼ローターリークラブを訪問した。菊池重敏第7グループガバナー補佐、松永さやかさん(羽部ガバナー令嬢)、北川地区幹事、長沢地区幹事、蛭名大輔会員(札幌南RC)が同行した。清水彰会長・田嶋俊美幹事・池田徳重会長エレクトが参加し会長・幹事会が開催された。菊池ガバナー補佐の司会進行のもと和やかに且つ有意義な懇談会となった。冒頭清水会長から会員20名を守り続けてきたが、高齢による退会者が出て誠に残念であることが報告され、なるべく早い時期の1名の増強を期す。清水会長からローターリーデーについての質問があったが、ガバナーからの回答で理解を得た。長沼ローターリークラブでは地区内において毎年、国際交流フェスティバルを長沼町の支援も取り付け開催している。長沼高校の生徒も多数参加して多い時には500名もの参加を得て実施されている事業である。一つのクラブがここまでの事業を毎年立派に成功させていることに地区ガバナーとして賛辞を示した。これまでに長沼クラブは地区大会に於いてガバナー表彰を数度に渡り受賞している。ポリオ撲滅に向けての広報・募金活動をすでに国際交流フェスティバルの際に行っており、さらには7月～9月の地域夏祭りにも実施を予定しているとの事で大いに心強く思うところである。引き続き会場を移してクラブ協議会が開催され参加した。清水会長の元、協議会が進行され、2014～15年度の会長計画が各委員長から発表された。実に有意義な活動が計画されていてクラブとして充分機能しているという印象を強く持った。午後7時から例会場に移り、清水会長の点鐘により開会され、会食後ガバナーから公式訪問の挨拶があり、素晴らしい活動を行っていることに賛辞を送った。また、地区目標と地区の戦略計画の重点課題について説明し、改めて協力を求めた。最後に人生は思い難いもので当たり前のことなど一つもなく、お釈迦様のお言葉を引用して人生を感謝して生きる事の素晴らしさ、ローターリー標語の「奉仕の理想」と「超我の奉仕」との関連についてお話をした。(文責 地区幹事 長沢祐純)



江別西ロータリークラブ 7月15日(火)

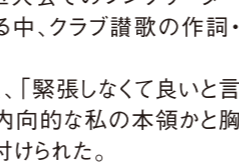
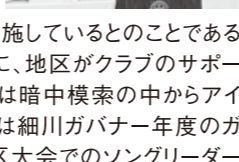
7月15日(火)江別西ロータリークラブを公式訪問した。磯野武司第3グループガバナー補佐、鳥山幸雄ガバナー補佐幹事、長沢地区幹事が同行した。

午前10時から江別市役所応接室にて、支部英孝会長・岡村信明幹事と磯野ガバナー補佐の司会のもと、会長・幹事会を行った。支部(はせべ)会長は直前ガバナー事務所の地区幹事を務めた方でロータリーに詳しく人格者であり、ガバナーが以前から親しくお付き合いを願った仲で、有意義な懇談会となった。懇談会では前年度安孫子ガバナーのコホスクラブを始めた経験から地区との連携を感じた1年であったとの感想を述べられ、会員増強のこれからの進め方について話した。その中で今までの習慣を打破して、従来のクラブの形態をも見直して改革する時期を迎えているのではとガバナーからアドバイスがあった。

その後、クラブ協議会に移り今年度の活動計画を中心に各委員長から発表され、活発に今年度の抱負や取り組みについて語り合った。特に社会奉仕事業として小学生を交えたひまわり畑のイベント・老人福祉施設への参加・幼稚園とのふれあい事業等に力を入れ、また他クラブとの親睦例会を継続実施しているとのことである。良い雰囲気の中、各委員長から質問も多数あったが、今年度の地区の戦略計画の重点課題の一つに、地区がクラブのサポートをすることを掲げているので、是非何かあったら相談して欲しいと伝えた。「ロータリーデー」については暗中模索の中からアイデアを出し合って地域に密着したプログラムを実施して戴きたいとお願いした。当クラブの増山柳会長は細川ガバナー年度のガバナー補佐をされた方であり、幼児教育・音楽活動に造詣が深く、羽部ガバナー個人としても昨年地区大会でのソングリーダーとしてのタクトに魅了されたとの由。更には今年シドニー国際大会にご一緒戴いた楽しい思い出の残る中、クラブ讃歌の作詞・作曲が亡き御主人の作であり、創立以来23年に渡り歌い継がれていることに深い感銘を受けた。

例会には最前列に安孫子直前ガバナーの臨席をいただき些か緊張致しましたが、羽部ガバナー曰く、「緊張しなくて良いと言われる度に緊張が増すのはふしぎなものだ。応援に来てくれていると思いつつ緊張するのは、内気で内向的な私の本領かと胸を撫でた」そうである。当日、鈴木誠会員が新会員として入会され、ガバナーからロータリーバッジを襟に付けられた。

最後にガバナー挨拶として特に地域社会に向けての取り組みに敬意と感謝を申し述べた。RIのテーマを推進することを再度おもしろい、地区目標・地区戦略計画の重点課題への取り組みについても理解を求め、仏典を引いて話を終えた。その後、磯野ガバナー補佐が希望により挨拶をし散会した。



(文責 地区幹事 長沢祐純)

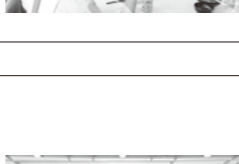
栗沢ロータリークラブ 7月16日(水)

羽部ガバナーに同行させていただき栗沢RCに訪問させていただきました。

磯野第3グループガバナー補佐、今井ガバナー補佐幹事の4名と中田会長、五十嵐幹事他理事の方と会長・幹事懇談会を行いました。磯野ガバナー補佐の時間に正確な仕切りのもとスムーズに進められ、昨年の栗沢RC創立50周年の話に花が咲きました。中田会長、五十嵐幹事のお人柄に触れて、すっかりファンになりました。クラブ協議会では立派に製本された活動計画に沿って発表が進められました。

私にとって初めて自分のクラブ以外の活動計画をお聞きする機会でしたが、独自性を感じることや、ロータリーとして共通に取り組んでいることなど、色々と感じた貴重な体験となりました。その後第2447回目の例会に参加させていただき、美味しい鰻をいただきました。美味しいものを頂くとその後の話は思い出せなくなりました。ガバナーの挨拶は鰻と同じくらい旨かったと思います。

栗沢RCの皆様、当日は大変お世話になりました。有難うございました。(文責 地区幹事 大作佳範)



(文責 地区幹事 大作佳範)

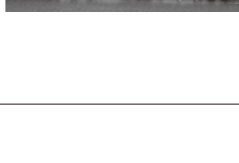
美唄ロータリークラブ 7月17日(木)

昨日に引き続き、羽部ガバナーに同行させていただき美唄RCに訪問させていただきました。

磯野第3グループガバナー補佐、太田ガバナー補佐幹事の4名と岸山会長、伊原幹事他理事の方と会長・幹事懇談会を行いました。磯野ガバナー補佐の時間に正確な仕切りのもとスムーズに進められました。会長と幹事の昔からのご縁についてもお聞きすることができ、非常に阿吽の呼吸を感じられました。ロータリーデーについても深く意見交換を進められ、この話題を通じて羽部ガバナーとの交流が深まってきました。

また岸山会長のお父様が会長の時に掲げておられたテーマ「心のふれ合うロータリー」を今年度のテーマに掲げられている姿勢に感動致しました。正に心のふれ合うロータリーを実践されていると感じました。クラブ協議会では昨日に引き続き美唄RCの独自性を感じ、ロータリーの多様性について感じた体験となりました。

その後、第1998回目の例会に参加させていただきました。美味しい三色丼を頂きましたが、会長・幹事・会員様の繋がりが三色丼の美味しさと重なって、心に残る体験をさせていただきました。美唄RCの皆様、当日は大変お世話になりました。有難うございました。(文責 地区幹事 大作佳範)



(文責 地区幹事 大作佳範)

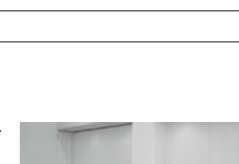
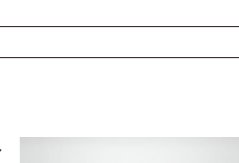
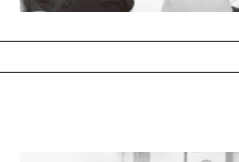
函館東ロータリークラブ 7月22日(火)

7月22日(火)、羽部ガバナー、大日向ガバナー補佐、柳ロータリーの友地区代表委員においでいただき、定刻より15分早い午前9時45分から、会長・幹事懇談会を行いました。羽部ガバナーの気さくな人柄のおかげで会話が弾み、懇談会は1時間以上に及びました。

午前11時からのクラブ協議会においては、各奉仕部門の委員長から今年度の活動計画が報告され、特に当クラブの特徴である函館大学ロータリーアクトクラブ、奨学金制度、継続事業である西桔梗グラウンドの植樹事業及びタイ国WAFCATに対する車椅子寄贈事業に対し高い評価と、「何も心配していません」と最高の褒め言葉をいただきました。

12時30分からの例会では、ガバナーの職業に関連させながらRI テーマ、地区目標、地区の戦略計画の重点課題についての卓話をいただきました。

例会終了後はガバナー訪問の記念に集合写真を撮影しました。羽部ガバナー、大日向ガバナー補佐、柳地区代表委員お忙しい中、当クラブを訪問、ありがとうございました。



(文責 地区代表委員 柳孝一)

七飯ロータリークラブ 7月22日(火)

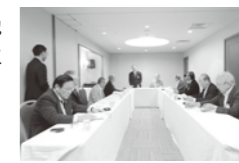
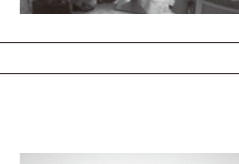
同日2クラブ目の訪問です。

第10グループの小泉ガバナー補佐に同行していただき、羽部ガバナー、工藤会長・石川幹事(会長エレクト)・上野元第10グループガバナー補佐、筆者を加え6名で、和やかに会長・幹事懇談会が16時30分から始まりました。会長の気さくな人柄でざっくばらんに進められました。

クラブ協議会では、社会奉仕、新世代奉仕が共同で行っている「チャリティ・カレンダー市」の活動が印象的でした。

18時30分から例会が始まります。昼とは違うガバナーのお話は、最後は十大弟子の一人、摩訶迦葉尊者と釈尊との問答を縁とした「四無量心」の話でした。「常に相手の為に成るか?」を基本姿勢に慈・悲・喜・捨進むが、最後の「捨無量心」こそが、執着心を離れて己を捨てて相手に尽くす事とロータリーの標語である「超我の奉仕」に繋がるとのお話でしめていただきました。

例会参加ロータリアン75%の高い出席率に感謝します。(文責 ロータリーの友地区代表委員 柳孝一)



(文責 ロータリーの友地区代表委員 柳孝一)

函館北ロータリークラブ 7月23日(水)

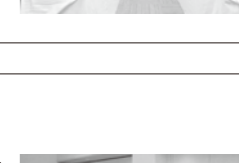
会長2回目の石橋会長、それを支える入会3年目の斎藤幹事、若く情熱家の渡部会長エレクトに出席いただき大日向ガバナー補佐の司会で会長・幹事懇談会を開催されました。

会の途中で当クラブがサポートしている「函館ハーフマラソン」が2年後「フルマラソン」に格上げされるとの情報が入り、タイミングも良く盛り上がりました。

クラブ協議会では既に実施してるCLPでの活動報告があり、クラブあげてのハーフマラソンへの支援、高校生への奨学金事業など紹介いただきました。

12時30分から始まった例会でのガバナーの卓話は、50年以上の歴史のあるクラブを講えながら地区の戦略計画と重点課題について説明され、最後にお釈迦様の説かれた経典「佛説無量寿經」に生活の三規について、「如何に生活することが、幸せに暮らすヒントに成るか」をお話しされました。

(文責 ロータリーの友地区代表委員 柳孝一)



(文責 ロータリーの友地区代表委員 柳孝一)

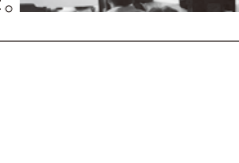
函館ロータリークラブ 7月24日(木)

7月24日(木)、羽部ガバナー、第10G担当小泉ガバナー補佐、柳ロータリーの友地区代表委員を例会場の五島軒本店にお迎えし公式訪問が行われました。

午前10時より会長・会長エレクト・幹事との懇談会、午前11時より会員34名が出席の第2回クラブ協議会、12時半より会員58名が出席して例会を開催致しました。クラブ協議会・例会では下記のお話をいただきました。

1. RI 会長方針と地区について、具体的な説明
2. 職業奉仕の理念と実践
3. 地区大会・IM 出席への依頼
4. ボリオについての説明と、市民に対しどんな表現で協力への理解が貰えるか
5. 第2510地区のロータリーデーの意義と公共イメージ向上の取り組み

ガバナーのお人柄とお話しに会員全員が引き込まれて、大変有意義な羽部ガバナーの公式訪問でした。



(文責 地区代表委員 柳孝一)

北斗ロータリークラブ 7月24日(木)

7月24日(木) 羽部ガバナー、柳ロータリーの友地区代表委員、大日向ガバナー補佐を迎えての公式訪問が行われました。北斗市役所の表敬訪問終了後、午後4時より会長・幹事懇談会を、当クラブ会長、幹事、会長エレクトの3名が出席し大日向ガバナー補佐の進行により進められました。当クラブ千秋会長より、継続事業の第8回「きつずアドベンチャーキャンプ」、当ロータリークラブ、函館地方隊友会、同北斗市支部、陸上自衛隊函館駐屯地第28普通科連帯、北斗スポーツクラブ、北斗市内教職員有志、北斗市、同教育委員会、函館大谷短期大学との合同活動について報告。次に、当クラブの現状として、会員数が14名の為、今年度の活動目標として、国際ロータリー、地区同様、会員増強に向けた活動を全会員で、取り組む事を報告。午後5時より「クラブ協議会」が開かれ、千秋会長の進行により、五大奉仕委員長より今年度の活動計画の報告を行い、羽部ガバナー、大日向ガバナー補佐より貴重な助言をいただきました。引き続き午後6時より、例会を行い羽部ガバナーより今年度の「地区基本活動方針」を話していただき有意義な公式訪問を終了しました。



函館五稜郭ロータリークラブ 7月25日(金)

大日向ガバナー補佐の所属クラブである函館五稜郭RCでの会長・幹事懇談会には柏木会長、石坂幹事、奥田会長エレクトに出席いただき、ざっばらんに主にロータリーデー開催のことについて懇談いたしました。11時からのクラブ協議会では、ベテラン会員に混じり入会3年未満の委員長からも積極的な発表があり、会員増強で成功を納められている片鱗をうかがうことができました。酒井バスターガバナーも出席され、例会ではガバナー卓話が若干の緊張の中進行しました。途中で震度1(後で判明)の地震がありましたが、動じることなく話を進められた姿と集中力に感心しました。最後にお釈迦様の御生涯を通じて考えられた「アッシュラマ」という考え方について話しをされ例会を終りました。記念撮影後に数カ所での委員会の輪広がり、話し合いが行われている光景には感動いたしました。(文責 ロータリーの友地区代表委員 柳孝一)



松前ロータリークラブ 7月25日(金)

函館五稜郭RCの公式訪問終了後そのまま、大日向ガバナーとご夫人にお付き合い願ひ、松前町まで約2時間をかけ、松前ロータリークラブ西村会長にご案内いただき、ガバナーの本職をフルに活用すべく、松前藩藩主の菩提寺に墓参いたしました。その後、例会場の龍雲院にご住職の保坂クラブ幹事の出迎えを受けました。この龍雲院は創建400年と言う名刹で今に伝わる道内屈指の寺院で、境内の建物の殆どが国指定重要文化財です。その庫裏は、松前ロータリークラブ旗と国旗、ロータリーソングの歌詞の書かれた紙も貼られた立派な例会場でした。北斗RC福島会員(函館大谷短大専念寺住職)がメイキャップで参加されました。専念寺は龍雲院より100年も古く500年以上も歴史を刻んでいる名刹だと紹介を受けました。クラブ協議会・例会は食事をしながら和気あいあいと進み、会員増強やポリオ、地区への参加等の話して時間があっという間に経ち、皆様のお見送りを受け、松前町を後にいたしました。(文責 ロータリーの友地区代表委員 柳孝一)



千歳セントラルロータリークラブ 7月29日(火)

7月29日(火)、羽部大仁ガバナー、菊池重敏ガバナー補佐、深貝亨地区幹事をお迎えし午前10時より会長、幹事、会長エレクト懇談会を行いました。映像でクラブ創立からの活動内容を紹介し、各種事業やCLPを導入したクラブ運営について説明。4年目を迎える東日本大震災支援事業への取り組みや地域に根差した活動を高く評価していただきました。終始和やかな雰囲気話が弾みました。午前11時からのクラブ協議会では、各理事より活動計画を発表しました。羽部ガバナーからは「ほめ過ぎもいけないと思いますが素晴らしい会長さんですから皆さんついてきてくださると思います」との激励の言葉を頂きました。その後の例会では、入会式を行いガバナーから新会員へバッジを授与していただきました。今年度の地区目標・重点課題についてご説明があり、クラブには良い点・悪い点があるが、悪い点を今後の課題として見直す事が重要であるご教示いただきました。奉仕とは他の人を思う事であり、ロータリーは相手を感じる心の中にあるとの言葉が心に残っています。会員一同、心より感謝申し上げます。



私の雑想ノート No.3

バスターガバナー 塚原 房樹 (札幌東RC)



「日本人ロータリアン第一号」"I am very well"

今回は、『福島喜三次伝』・日本ロータリーの曙(有田RC 発刊)より、日本ロータリーの黎明期の秘話をご紹介します。【日本人ロータリアン第一号は米山梅吉さんと思いがちだが、実は福島喜三次さんという方が、日本人ロータリアン第一号だった。福島さんは1881年、佐賀県有田で生まれた。東京高商(現在の一橋大学)で学び、何より語学が堪能であったといわれている。卒業と同時に三井物産に入社。テキサス州、ダラスの東洋綿花の社長に就任。そこでダラスのロータリークラブの会員になった。ダラスといえば綿花の大集散地である。福島さんは世界中の紡績会社の動きに目を注ぎ、綿花の取扱高は米国を含めて各国の商社のトップだったそうである。しかし第一次大戦の戦後恐慌でどの商社も大きな損害を受けた。三井にも三井の三大損失といわれて有名なお話がある。一つは紐育支店の飛行機一千台買占めの損失、次はシアトルの石油貨車三千両買占めの損失、最後はダラスの福島さんの綿花三千万円の損失である。この時紐育の支店長は、責を負って自殺。そんな事で誰いともなく福島自殺説が内地に流れしてきた。本店でも驚いて真偽確かめのため、「君は今どうしているか」とう問い合わせの電報を打った。これに対する福島さんの返事は、「I am very well」とわずか十一文字であった。損失の天文学的数字に比し、生真面目一方の人柄のどこにそんな意味深長なユーモアがあったのか。福島さんは本社に召喚されることになった。しかしダラスの彼の人気は大変なもので、彼がダラスを離れる際には、ダラスRCの会員は盛大な歓送会を開いてくれ、会長が日本にロータリークラブを作ってくれるよう福島さんに依頼した。そしてRI理事会から1920年6月末日までに東京にロータリークラブを作るよう、福島さんは特別代表ということになった。失意の中に帰国した福島さんは、経済使節団の一員として渡米した折、ダラスの自宅で知己を得ていた三井銀行重役の米山梅吉氏に事の次第を話し、ようやく1920年10月20日に29名の会員により創立された。『福島喜三次伝』から要約・抜粋しました。東京ロータリークラブ創立は、1910年ダラスロータリークラブで日本人初のロータリアンとなった福島喜三次氏に負うところが多かったのです。

職業奉仕委員会から

ロータリーの本の紹介

「ロータリーの本」(1952年/昭和26年) 森 光繁 著(松本兼二郎 訳) ロータリーとは何かを問い続け、昭和26年にその報告書として書かれたもの。今治ロータリークラブの会長までの経験しかないのだが、小堀憲助氏(中央大学名誉教授、千種会の創設者)をして「ロータリーの聖者」と云わしめた不世出のロータリアンであると云われている。以下は水の中にカゴを入れるという、とても良く知られているこの本の一部である。『ロータリーの根本精神は「奉仕の理想」にある。一切の生活の中に「奉仕の理想」が適用されると云うよりも、一切の生活が「奉仕の理想」の中に没入している姿が最も理想的である。カゴに水を入れようとするから中々難しい。水の中にカゴを入れれば良いのである。「奉仕の理想」の中に個人生活も職業生活も社会生活も没入すればよい。我々が一切の生活を「奉仕の理想」の中に入れるには、結局その人の精神生活に支配されるのであって、奉仕ということは形の問題ではなく、心の問題である。』

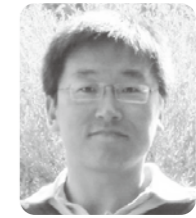
職業奉仕のミニ情報

ロータリーは上辺だけの人間を作るものではなく、人間の体質改善を行うものである。ロータリーの内部で体験を積むにつれて、人はロータリアンとなるのである。(1915年、ロータリー通解、ガイ・ガンディカー著)

米山便り

感謝の気持ち

オウ リョクユウ 米山奨学生 王 力勇 (小樽RC)



私は小樽商科大学大学院商学研究科博士課程の留学生、王力勇と申します。出身は中国の大連です。2013年4月からマルチイヤー米山奨学生に選んで頂き、小樽クラブにお世話になっております。カウンセラーの山田様、西條様をはじめ、ロータリアンの皆様には厚く御礼を申し上げます。今までの米山奨学生の生活を振り返ってみますと、得たものは数えきれません。毎月の例会参加を通してロータリーの奉仕精神を実感し、また様々なクラブの活動や地区行事に参加して他国の奨学生とのコミュニケーションを取ることで異文化に対する理解を深めることができました。以前アルバイトをしながら研究を続けていた時期は、勉強時間が不足であることを実感していましたが、米山奨学生になったこの1年間は、指導教官の思った以上の成果を上げることができました。そして私が執筆した2つの論文は、今年6月にオランダで行われた国際広告学会の審査に合格し、晴れて発表の機会を頂きました。もし米山奨学金を頂いていなかったら、オランダへの旅費まで捻出できませんでした。米山奨学生に選んで頂いてとても感謝しています。ロータリアンの皆様に支えて頂いた分、私自身もロータリーの奉仕精神に習い皆様のように輝かしい人生を歩みたいと思います。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

ロータリーわくわく森の親子キャンプ2014 ～夏休み編～事業報告

ロータリーわくわく森の親子キャンプ実行委員会
西方 洋昭(岩見沢RC)

去る、7月30日から8月1日までの2泊3日で行われた、わくわく森の親子キャンプの報告を致します。

例年、福島キッズキャンプは、福島から子供達を北海道に招いてキャンプを行っていましたが、今年度は、震災により北海道に避難している家族を対象に、親子で参加するキャンプを実施致しました。北海道広域避難アシスト協会から案内をしてもらい募集を掛けましたが、バスでの移動、宿泊施設の受入キャバ等の関係で応募者多数の中から、全員参加させたい気持ちを押し殺し、抽選で12家族29名限定での親子キャンプとなりました。親子キャンプとは言っても、テントを張って宿泊するのではなく、今回は岩見沢市毛陽地区にある宿泊施設「スパ・インメープルロッジ」を貸し切りで連泊し、住み慣れない地、雑踏とした都会での生活から離れ、北海道の大自然に親しんでもらい、心も体も癒やしてもらおうという趣旨のもと行いました。

7月30日、午後12時20分JR札幌駅をバスで出発し午後2時メープルロッジ到着。午後3時より開会式、松原実行委員長より、このキャンプの趣旨を説明し十分楽しんで頂きたい旨のお話、続いて羽部ガバナーより参加者へ怪我の無いよう楽しんでくださいとの御挨拶。実行委員よりキャンプの行程説明の後、閉会。参加者は早速、屋外に出て、最初のプログラムにチャレンジ。まずは自然に親しんでもらう為の「ネイチャーゲーム」、自然の草や木々の中に隠された人工物をジックリ目を凝らして探し当てると言うプログラム等を体験。大人も子供も真剣になってプログラムに夢中。

2時間ほどのプログラムを終え、メープルロッジ自慢の温泉に入浴、その後、ホテルで用意した美味しい夕食に舌鼓。夕食後は楽しみにしていた大花火大会。開催地である岩見沢の3クラブ(岩見沢RC、栗沢RC、岩見沢東RC)が用意してくれた山ほどの花火を抱え、駐車場に移動。大量の花火を約1時間かけて楽しみ、最後には手伝いに来た岩見沢メンバーによる一斉花火(グランドファイナル)に大喝采。その後、ホテルまでの帰り道、満天の星空やホテルを観察しながら部屋に戻り、初日のプログラムを終え就寝。



2日目、6時起床、6時半から早朝散歩で軽くお腹をすかせ朝食バイキング。9時半より、少しハードな自然体験プログラム。原始人さながらの火起こし体験、竹の棒にパン生地を巻き付け、炭火で焼くパン焼き体験、アイスクリーム作り体験など、普段出来ない自然体験を終え昼食。自分たちで焼いたパンや地元の農産物でお腹を満たし午前のプログラムを終了。メープルロッジに戻り引き続き午後のプログラム。郷土科学館より講師を招いて、手作り天体望遠鏡づくり、約2時間かけて天体望遠鏡が完成したのだが、この日は、あいにくの曇り空。天体観察は帰ってからの楽しみとなってしまった。夕食後、天体観測が出来なくなった代わりに講師の先生が機転を利かせ、火薬を使わない線香花火づくりを体験し、2日目のプログラムを終了。

晴天の真夏日となった最終日は、9時半にメープルロッジを出発し、いわみざわ公園冒険の森へ移動。子供達は様々なアスレチックで自然を満喫。昼食兼閉会式に備え、札幌、岩見沢、小樽、留萌など各地のクラブから応援団が駆けつけ、更には、海産物、農産物など豪華な差し入れが持ち込まれての大バーベキューランチ開催。

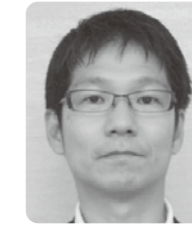
閉会式では、羽部ガバナーより参加者一人一人に記念マグカップが手渡され、子供達からは楽しかった事業の感想と、父母からは感謝の気持ちが発表された。どの参加者からも、多くのロータリアンのお陰で、このキャンプが開催されている事への感謝の言葉が述べられた。また、父母からは、「母子だけでは出来ない貴重な体験をさせてもらえて、とても嬉しかった」とか、「普段1人で抱えてしまう問題も他の親やスタッフと話が出来て良かった」「多くの人の優しさを感じられる貴重な体験が出来た」など、参加した親御さんからの率直な感謝の気持ちが運営側に伝えられた閉会式となった。

子供参加のキッズキャンプで得られる子供同士のコミュニケーションの場は少なかつたかもしれないが、参加した事で親子の絆は間違いなく深まった事業であると同時に、故郷から避難し、他の地で暮らす心のストレスは少し解消されたのでは無いかと感じた事業でした。最後に大変御協力頂いた、第2510地区の多くの素敵なロータリアンに心より感謝申し上げ、わくわく森の親子キャンプの報告とさせていただきます。ありがとうございました。

新会員の ご紹介 敬称略



札幌はまなすRC
荒井 虎史
入会日:7月1日
職業分類:省エネコンサルティング



札幌はまなすRC
佐藤 勉
入会日:7月1日
職業分類:弁護士



小樽RC
船水 浩司
入会日:7月1日
職業分類:建築設計



恵庭RC
西村 英晃
入会日:7月2日
職業分類:中古車販売業



恵庭RC
大川 武志
入会日:7月2日
職業分類:生命保険業



滝川RC
宮腰 尋資
入会日:7月24日
職業分類:金融業



千歳セントラルRC
岩室 秀典
入会日:7月29日
職業分類:一般建築工事業



苫小牧RC
内山 敦志
入会日:8月1日
職業分類:地方銀行



苫小牧RC
小田 実
入会日:8月1日
職業分類:電気通信



小樽南RC
盛 昭義
入会日:8月1日
職業分類:写真



小樽南RC
大橋 一弘
入会日:8月1日
職業分類:生涯教育



札幌モーニングRC
紫藤 正行
入会日:8月6日
職業分類:自動車附属品販売



岩見沢RC
大床 泰司
入会日:8月7日
職業分類:保育所



岩見沢RC
横山 弘
入会日:8月7日
職業分類:包装資材



札幌モーニングRC
松崎 直敏
入会日:8月20日
職業分類:電子機器

2014年9月のロータリーレート 1ドル 102円

2017-2018年度 ガバナーノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 羽部 大仁
地区ガバナー指名委員長 熊澤 隆樹

2017-2018年度地区ガバナーノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適合していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

文庫 通信



(323号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

[下記申込先:ロータリー文庫]

◎「当世相四つのテスト」 佐藤千壽 徳山西R.C. 1998 43p
◎「「職業奉仕を強調したロータリーの認知度を向上させる広報活動」プロジェクトについてのアンケート結果に対する考察」 大之木精二 2013 6p (D.2710 地区活動報告書)
◎「職業奉仕とこれからの国際奉仕のあり方」 横田盛廣 2014 5p (D.2600 下伊那グループIM&会員セミナー報告書)
◎「ロータリーは人づくり、自分づくり」 小林完治 2014 4p (D.2690 地区大会記念誌)
◎「人格と生産性」 大迫三郎 2014 1p (D.2730 月信)
◎「奉仕は他者のため?自分のため?」 本田博己 2014 3p (D.2840 月信)
◎「公共イメージと認知度の向上」 二神典子 2014 12p (D.2510 地区大会記録誌)
◎「なぜ、今、公共イメージの向上が必要なのか(フォーラム)」 酒井正人他 2014 20p (D.2510 地区大会記録誌)
◎「ロータリークラブの会長とは その1・2」 深川純一 伊丹R.C. 2005 2p (純ちゃんのコーナーPart IV)
◎「ロータリークラブの幹事とは その1～4」 深川純一 伊丹R.C. 2005 4p (純ちゃんのコーナーPart IV)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝日

クラブ紹介

砂川 ロータリー クラブ



砂川ロータリークラブは、滝川ロータリークラブをスポンサークラブとして、1970年(昭和45年)に27名で発足し、2014-2015年度に45周年を迎えることになりました。その後、順調に増強活動が行われ、1999～2000年度に会員数71名となりましたが、徐々に会員数が減少し、2014年7月には38名と1973年7月以来始めて、40名を下回る会員数となりました。

しかしながら、発足当時から伝統である95%以上の高出席率は維持し、世代間の交流もスムーズであり、会長経験者であっても、会を支えるために、縁の下の力持ちの働きをしていただける「団結力があり、和気あいあいと素敵なクラブ」と自負しているところであります。奉仕活動は種々展開しておりますが、その中でも、「りんご狩りを通して障がいのある児童とその家族、教師と会員がふれあう事業」は、長年に渡り開催されており、参加者の喜ぶ顔で溢れています。

滝川 ロータリー クラブ



滝川ロータリークラブは、ここ30年間80名を超える会員数で推移しています。

出席率を問われればうつくばりですが、例会が会員それぞれにとって、生活に組み込まれたひと時となっているようです。①お互いに自然に協力し合い、②気軽に声を掛け合い、③わがままな人のいない・・・そんな心地よさを楽しみ、抛り所としているようにも見えます。でも滝川ロータリークラブは、決してお昼の行燈ではありません。一致団結した時のパワーは、これも会員等しく承知しているところです。

世の中CLPが議論され、規定審議会では目を見張る改革案が示されていますが、わがクラブにも改革の意欲を秘めた会員は潜在します。そう、今年度三品優次会長のテーマは「新しい前進」なのです。17%を占める70～80歳代の会員は、これからもパワーアップを続けます。38%の40～50歳代は、残りの45%を引っ張ります。滝川ロータリークラブは、今日も前進を続けます。

赤平 ロータリー クラブ



赤平ロータリークラブではローターアクトと共に毎年12月に地元の障がい児の会(赤しょう会)をお招きし「お楽しみクリスマス会」を開催しています。毎年、楽しみにしてくれていて親御さんや先生たちも参加し総勢100名を超えるイベントに。ローターアクトメンバー主催のゲーム大会、地元のケーキ屋さん指導のもとケーキ作り、マジックショーなどのお楽しみと全員でお食事、サンタクロースも登場しプレゼントをお渡しした時の子供たちのキラキラとした表情が印象に残っています。子供たちからの歌や踊りの発表もあり一生懸命な姿に感動を覚えます。後日に子供たちからお礼のお手紙も頂き、これからもますます頑張っていこうと会員一同気持ちを新たにしております。

芦別 ロータリー クラブ



8月21日は、物故会員追悼例会でした。芦別ロータリークラブは、1957年2月に22人の異業種の会員が相集い、「超我の奉仕」のもとに、クラブの繁栄と基礎を築かれ、57年の歳月が流れました。現在、37名の会員でロータリーの世界戦略に呼応し、地域に根差した奉仕活動を重ねています。当クラブでは毎年この時期に、日頃とすると忘れがちな先輩物故会員の遺業を称え、敬意と感謝の気持ちで、先人を偲んでいます。今後、奉仕の理想を求め、更にクラブに輝きをもたらすべく、誓いを新たにいたしました。

ロータリーデーを実施したクラブの表彰

2014-15年度にロータリーデーを実施したクラブは、ガバナーによる表彰を受けられる可能性があります。表彰状のテンプレートが全ガバナーに送付されます。

ロータリーデー・ビデオコンテスト

クラブや地区によるロータリーデーのイベントを紹介した短いビデオをぜひご提出ください。クラブと地区による作品の中から選ばれた最優秀作品には、ホーン会長から特別な表彰の品が贈呈されます。最優秀作品や最終選考に残った作品は、rotary.orgで紹介されるほか、2015年国際大会（サンパウロ）でも上映することが検討されています。

応募作品の要件

ロータリーデー・ビデオコンテスト応募作品の要件は以下の通りです。
 最長3分とする。
 日本語での作品には、英語字幕をつける。
 あらかじめHYPERLINK"<http://www.youtube.com/>"_blank"YouTube（ユーチューブ）にアップロードする。

応募方法

ビデオ作品をYouTubeにアップロードし、2015年3月31日までにそのリンクと作品内容の簡単な説明をEメール（HYPERLINK"<mailto:rotary.service@rotary.org>"_blank"rotary.service@rotary.org）で送信してください。

ロータリーデーを写真で紹介

実施したロータリーデーの写真を、ツイッターで発信（ハッシュタグ:#RotaryDay）するか、またはFlickr（フリッカー）に掲載し、HYPERLINK "<http://www.flickr.com/groups/familyofrotary/>" ロータリーファミリー・グループと共有してください（各写真に、写っている人たちのお名前と撮影日を添えてください）。
 写真は、HYPERLINK"<http://therotarianmagazine.com/>"「ザ・ロータリアン」誌またはHYPERLINK"<https://www.rotary.org/node/15931>"（「ロータリーの友」などの）地域雑誌に掲載させていただく場合があります。



9月14日(日) 第2510地区ロータリーデー
 9月8日(月)～20日(土)は ロータリーウイーク

ポリオ撲滅のため、
 クラブ・グループで
 活動を！

第48回『おたる潮まつり ねりこみ』参加

7月26日(土)、小樽最大のまつりで、今年で48回目を数える「おたる潮まつり」のメインイベントであり、80梯団約6千人の市民参加者が、市内のスタート地点から港の会場ステージまでの1.8キロのメインストリートに約90分前後かけて踊りきる。

昨年に引き続き、「ロータリーをもっと知ってもらうこと」と「会員の親睦と和」を目的に、小樽南・小樽銭函・小樽ロータリークラブとの3クラブ合同でロータリークラブ梯団として参加致しました。



当日は、公式訪問中の大変忙しい中の羽部大仁ガバナーにも参加していただき、3クラブ会長、地区青少年奉仕委員長の出村知佳子さん、ロータリーの友地区代表委員の柳孝一さん、札幌南ローターアクトクラブの方々、タイチェンマイのロータリアンの方々、米山奨学生を含む総勢77名の梯団で、悪天候の中熱意のこもった踊りは大変な盛り上がりの中、楽しく踊り通すことができました。

羽部大仁ガバナーをはじめ参加されたメンバーの皆様から感謝申し上げます。



対談紙面に国際ロータリー第2510地区の各ロータリークラブの名前が掲載されますので、ロータリーの公共イメージと認知度の向上のため会員の皆様には協賛への協力を戴きたくお願い申し上げます。

2016-17年度会長にジョン・ジャーム氏

8月4日にRI会長指名委員会が開かれ、2016-17年度RI会長として、チャタヌーガ・ロータリークラブ(米国テネシー州)のジョン・ジャーム氏が選ばれました。対抗候補者が出なければ、10月1日をもって、ジャーム氏が正式に会長ノミニーとなります。ジャーム氏はインターナショナル・ポリオプラス委員会の現委員長でもあります。

ロータリーの発展には、会員が、現在そして将来の課題と機会に「情熱と粘り強さ、そして何よりも高潔さをもって取り組まなければならない」とジャーム氏。「私が心に描くロータリーは、ポリオ撲滅の達成、会員増強とアイデンティティの確立、クラブの活性化、そして、ロータリーの未来を担う若者たちとの協力など、大胆に創造性をもって取り組む団体です。国際ロータリーとロータリー財団が6つの重点分野での活動を通じて、そのパートナーシップをより緊密で強固なものとする上で、2016-17年度がまたとない機会になると考えています」

ジャーム氏を目指すこと、それは「ロータリーとは何ですか」という質問を誰からも聞かれなくなることです。

「ロータリアンとはどんな人びとなのか、ロータリーがこれまで世界各地や国際レベルでどのような偉業を成し遂げてきたかを、より積極的かつ効果的に伝えることで、ロータリーの公共イメージは必ず向上します。そうすれば、「ロータリーとは何ですか」といった質問を耳にすることはなくなるはずだ」。

世界経済の先行きが見えない現在、ロータリーは、会員の経済的負担を抑えるとともに、「資金を効果的、効率的に活用する方法を常に考えていく」必要がある、とジャーム氏は述べます。

エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社であるCampbell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者(CEO)を務めています。

また、Public Education Foundation、Orange Grove Center社、Blood Assurance社など、複数団体の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundationの創設者および財務長、Tennessee Jaycee財団の会長も務めています。

1970年には、テネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、1992年には、エンジニア・オブ・ザ・イヤーとボランティア・ファンデレイザー・オブ・ザ・イヤーに輝いています。

1976年にロータリークラブに入会して以来、RI副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI会長エイドなどを歴任してきました。また、ロータリー超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞し、ジュディ夫人とともに、夫婦でアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。

「ロータリーは、伝統と価値観の範囲内で、革新を通じて、急速に変化する世界に対応します」とジャーム氏。「適切な新しいテクノロジーやソーシャルメディアを積極的に取り入れ、新たな機会を活用すれば、ロータリーに対する一般の人びとの理解が深まっていくでしょう」

RI会長指名委員会の委員は、以下の方々です(敬称略): T.D. グライリー(委員長、米国)、ホセ・アントニオ F. アンティオリオ(ブラジル)、キース・バーナード・ジョーンズ氏(英国)、ケネスR. ボイド(米国)、マイケル・コラサード・シニア(米国)、ヤッシュ・バル・ダス(インド)、ジョン・エバーハード(カナダ)、バリー・マシソン(ノルウェー)、シャカール・メータ(インド)、カルロ・モンティチェリ(イタリア)、サミュエル・オウオリ(ウガンダ)、小沢一彦(日本)、エックハルト・バンデル(ドイツ)、朴柱寅(韓国)、ジョンC. スマージ(米国)、バリーE. トンプソン(オーストラリア)、トーマスM. ソーフィンソン(米国)。

(記事: Ryan Hyland 5-Aug-2014 国際ロータリーホームページより)

ロータリーの友委員会よりお願い

ロータリーの友では、クラブの情報源として、会報(週報)提供をお願いしています。

「卓話の泉」等は会報の記事を参考に掲載しています。

広報・会報担当の委員、幹事の皆さんに、1ヶ月分まとめて結構ですロータリーの友事務所にご郵送下さい。

送り先

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

ロータリーの友事務所



出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2014.7.31	増減	内女性	
1	深川	4	33	35	2	2	83.14
	羽幌	4	47	47	0	2	77.13
	妹背牛	4	10	12	2	0	81.25
	留萌	5	40	42	2	3	81.27
	小計		130	136	6	7	80.70
2	赤平	4	29	29	0	0	80.60
	芦別	3	37	37	0	2	74.30
	砂川	5	38	38	0	0	95.26
	滝川	5	81	84	3	2	79.00
	小計		185	188	3	4	82.29
3	美唄	4	30	30	0	0	85.79
	江別	5	32	32	0	1	94.38
	江別西	4	25	26	1	3	93.30
	岩見沢	4	74	74	0	0	92.76
	岩見沢東	4	23	24	1	3	83.25
	栗沢	5	24	24	0	1	95.78
4	栗山	4	24	24	0	4	93.67
	当別	5	25	27	2	0	90.91
	小計		257	261	4	12	91.23
	札幌	5	112	120	8	0	98.56
5	札幌はまなす	5	12	14	2	2	82.14
	札幌北	3	33	34	1	3	92.93
	札幌モーニング	5	40	40	0	0	73.60
	札幌西	4	50	50	0	7	84.26
	札幌西北	5	31	31	0	3	83.60
	札幌手稲	4	37	37	0	3	95.10
	小計		315	326	11	18	87.17
6	札幌東	5	114	116	2	0	99.26
	札幌清田	5	17	17	0	4	100.00
	札幌幌南	4	57	59	2	4	100.00
	札幌真駒内	5	22	23	1	3	100.00
	札幌大通公園	4	12	13	1	1	80.76
	新札幌	5	22	23	1	2	87.90
	小計		322	330	8	14	95.24
7	岩内	4	18	18	0	1	77.45
	倶知安	5	40	41	1	5	72.00
	小樽	4	73	74	1	0	85.00
	小樽南	4	71	72	1	2	90.97
	小樽銭函	5	19	20	1	2	70.00
	蘭越	3	11	11	0	0	100.00
8	余市	5	45	46	1	4	84.00
	小計		277	282	5	14	82.77

7月出席率・会員増減数

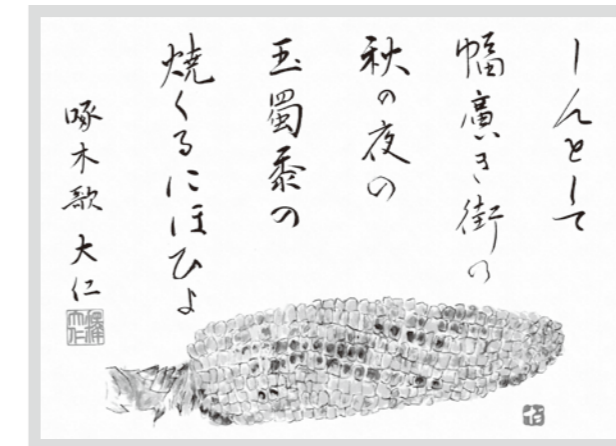
- クラブ数 70クラブ
- 期首会員数 2,497人
- 当月末会員数(女性) 2,650人(118人)
- 増加会員数 63人
- 当月平均出席率 85.16%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2014.7.31	増減	内女性	
7	千歳	5	52	57	5	5	89.08
	千歳セントラル	5	31	34	3	3	77.84
	恵庭	4	46	48	2	3	86.05
	北広島	5	17	17	0	1	88.23
	長沼	3	19	19	0	3	82.00
	由仁	5	5	6	1	0	66.67
	小計		170	181	11	15	81.65
8	えりも	4	20	21	1	1	93.98
	三石	3	15	15	0	2	84.60
	様似	5	24	24	0	1	72.08
	静内	5	60	61	1	0	80.36
	浦河	5	22	24	2	1	91.67
	小計		141	145	4	5	84.54
9	伊達	4	57	57	0	0	86.18
	室蘭	4	37	38	1	0	83.62
	室蘭東	5	35	35	0	0	80.60
	室蘭北	4	40	40	0	3	72.50
	登別	5	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	3	8	8	0	0	79.10
	小計		208	209	1	4	80.98
10	函館	5	81	85	4	1	85.29
	函館亀田	3	41	41	0	5	95.00
	森	3	39	39	0	0	70.00
	七飯	4	18	17	-1	0	67.16
	長万部	3	9	9	0	0	66.60
	函館セントラル	5	27	27	0	2	77.69
	小計		215	218	3	8	76.96
11	江差	4	10	10	0	1	70.00
	函館五稜郭	4	46	48	2	0	88.00
	函館東	5	46	49	3	5	79.84
	函館北	4	21	21	0	0	92.86
	北斗	4	14	14	0	0	71.40
	松前	3	4	4	0	0	100.00
	小計		141	146	5	6	83.68
12	白老	5	31	33	2	2	89.00
	苫小牧	4	48	48	0	2	85.00
	苫小牧東	4	27	27	0	5	94.45
	苫小牧北	4	30	30	0	2	92.63
	小計		136	138	2	11	90.27
	合計		2,497	2,560	63	118	85.16

地区カレンダー(9月・10月)

9月 新世代のための月間	
1(月)	
2(火)	～3(水) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
3(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
4(木)	2015-16年度地区研修リーダーセミナー(東京) 公式訪問(室蘭RC、洞爺湖RC)
5(金)	～6(土) 地区野球大会(新ひだか)
6(土)	ローターアクト地区協議会(札幌)
7(日)	米山奨学生研修旅行予定
8(月)	
9(火)	公式訪問(当別RC)
10(水)	公式訪問(倶知安RC)
11(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
12(金)	公式訪問(小樽南RC)
13(土)	
14(日)	地区ロータリーデー
15(月)	敬老の日
16(火)	公式訪問(札幌清田RC)
17(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
18(木)	公式訪問(札幌東RC)
19(金)	
20(土)	～21(日) 北海道ローターアクト交流会(帯広) ロータリアンのための青少年会議(札幌)
21(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
22(月)	
23(火)	秋分の日
24(水)	公式訪問(札幌真駒内RC)
25(木)	公式訪問(千歳RC)
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	公式訪問(札幌北RC)
30(火)	

10月 職業奉仕月間・米山月間	
1(水)	
2(木)	
3(金)	2014-15年度地区大会記念ゴルフ大会(北広島)
4(土)	2014-15年度地区大会(札幌)
5(日)	2014-15年度地区大会(札幌)
6(月)	
7(火)	公式訪問(札幌はまなすRC)
8(水)	公式訪問(新札幌RC)
9(木)	公式訪問(江別RC)
10(金)	
11(土)	第13回ロータリー全国囲碁大会(東京)
12(日)	
13(月)	体育の日
14(火)	公式訪問(浦河RC、様似RC)
15(水)	公式訪問(静内RC)
16(木)	公式訪問(えりもRC)
17(金)	
18(土)	公式訪問(札幌手稲RC)
19(日)	
20(月)	公式訪問(三石RC)
21(火)	公式訪問(札幌大通公園RC)
22(水)	公式訪問(白老RC)
23(木)	公式訪問(札幌西北RC)
24(金)	
25(土)	函館RC創立80周年記念式典(函館)
26(日)	
27(月)	
28(火)	公式訪問(赤平RC)
29(水)	公式訪問(砂川RC)
30(木)	公式訪問(滝川RC)
31(金)	



表紙の解説

トウキビと啄木の歌

私の父母は無類のトウキビ好きだった。
9月にはトウキビが全盛期でご門徒の農家の方が朝もぎしたキビを大きな鍋で茹でる。父が美味しそうに、然も上手に食べている姿を忘れない。
母はそれを焼いて醤油を付けて食べるのが好きだった。そんな性か私も玉蜀黍が大好きである。父のように上手には食べられないが自分流で食べている。
さて話は啄木に戻るが、明治40年函館で新生活を始めるが、函館の大火で札幌に滞在する。札幌には、その年の9月に頃滞在していたようだ。(僅か2週間余りと聞く)その時、詠んだ歌がこれである。
「しんとして 幅廣き街の 秋の夜の
玉蜀黍(とうもろこし)の 焼くるにはいよ」
又こんな寂しげな詩も残している。
「札幌に かの秋われの 持てゆきし
しかして今も 持てるかなしみ」
立待岬に建てられた墓には今でも多くの人が参拝されると聞く。この墓は宮崎郁雨の手で建てられ、遺骨も大正2年に移された。函館がどれ程気に入ったかは啄木でなければ解らぬが、句碑をもう一度詠んでみよう。
「東海の 小島の磯の白砂に
われ泣きぬれて 蟹とたわむる」
(公式訪問の折に、ここに来ると啄木に会えるかもと寄ったが・・・)

羽部